COLUMN コラム　萩原　智子



2018年度から約5年間、「きれい甲斐コラム」の担当をさせていただきました。今回で最終回とさせていただきます。

このような機会を与えて下さり、とても嬉しく光栄でした。私の考えや想いをのせて、コラムを執筆させていただくことで、私自身の気持ちも整う時間となり、素晴らしい経験となりました。本当にありがとうございました。

私は競泳選手の経験から自分自身の気持ちを整理するときに、文字に書き起こし、自身の心と向き合う時間をとってきました。自己分析をする意味でも、大切な作業となります。今、何ができて、何ができないのか。それはなぜなのか。そしてそれはどう解決するといいのか・・・など、箇条書きして整理してきました。

今でも日記を書き綴っています。時には昔の日記を読み返し、初心に立ち返ったり、過去の自分に励まされたり、自身の成長を実感できる瞬間も・・・。そして日々、頭に浮かぶ想いや考えをまとめておくとトークもしやすくなります。

文字で書き起こすやり方もありますが、その他に気持ちを整理できる時間は、人と話すこと。ゆったりとした時間の中で、友人や家族、仲間との会話で、自分の気持ちを発見することもあります。「それはなぜ？」と質問されることで心の奥底にある気持ちが顔を出すこともあります。この場合、やはり大切なのは利害関係のない人と会話をすること。そうすることで、より素直に、よりスムーズに自身の気持ちの整理ができると思います。

言葉は、時に人を傷つけることもありますが、私はそれ以上に、言葉からたくさんのエネルギーを与えてもらってきました。これから先、私自身、言葉を通じて少しでも人の心にエネルギーを届けられるように生きていきたいです。

5年間、ありがとうございました！

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）

生年月日　1980年4月13日

肩　　書　日本水泳連盟理事
日本マスターズ水泳協会理事
日本知的障害者水泳連盟副会長
日本体操協会理事

出 身 地　山梨

出 身 校　山梨学院大学付属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。

高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。

2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。

5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。

翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。

2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。

2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。

2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。

現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。

メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。

きれい甲斐

No.96 MARCH 2023

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

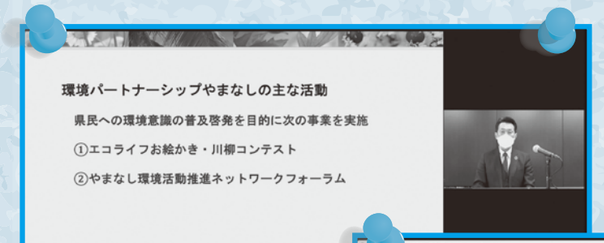
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634　FAX.055-223-1781　✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索
発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

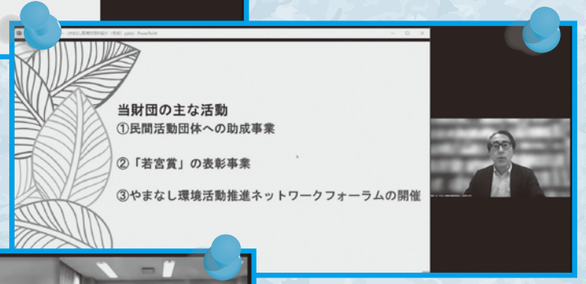
やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムを開催しました

環境パートナーシップやまなしでは２月２３日（木）に「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を（公財）やまなし環境財団と共催で開催しました。
昨年度に引き続き、今回のフォーラムも新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催としました。
当日は約４０名の方に参加いただき、午後１時から「脱炭素な未来へ～山梨の企業と市民のチャレンジ～」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。



◀ 環境パートナーシップやまなしの紹介

（公財）やまなし環境財団の紹介 ▶





◀ パネルディスカッションの様子

実際の内容は、
次ページをご覧ください。

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム内容

開会挨拶

主催者を代表して、環境パートナーシップやまなし、（公財）やまなし環境財団の加藤栄佐事務局長（県自然共生推進課長）から、地球温暖化や気候変動への対応は、喫緊の課題であり、脱炭素に向けた取組が重要であると挨拶がありました。

主催団体の活動紹介

主催団体の活動紹介では環境パートナーシップやまなしの活動内容と（公財）やまなし環境財団の活動をそれぞれ１０分程度で紹介しました。

環境パートナーシップやまなしでは今年度も実施した「エコライフお絵かき・川柳コンテスト」の案内を中心に志村宏司企画委員長（生活協同組合パルシステム山梨）からご紹介いただきました。

（公財）やまなし環境財団からは箕浦一哉運営委員長（山梨県立大学教授）から当財団の助成金事業や表彰事業を中心にご紹介いただきました。

パネルディスカッション（パネリストの活動紹介）

脱炭素に向けた取り組みを行っている企業、団体、学生の４団体の皆様にご出演いただきました。

- （株）山梨中央銀行　戸島秀和氏
  再生可能エネルギーによる電気の導入や電気自動車などエコカーの導入、紙製クリアファイルの使用などの「山梨ちゅうぎんecoアクション」を実施
- （株）相川プレス工業・（株）仙洞田板金工業共同企業体
  相川光央代表取締役社長、仙洞田茂代表取締役
  屋根上太陽光発電や地域の特性を生かした山梨県だからこそできる身近な脱炭素化、環境・防災への取り組みなど
- 生活協同組合パルシステム山梨　池谷好司管理・運営本部長
  資源回収やプラスチックトレーから紙製トレーへの切り替えなどによるプラスチック削減、「もったいない」の発想による食品ロス削減など
- 都留文科大学の学生サークル「しぇあはぴ」　菅木翼愛氏
  ラフに社会問題を語れる場を理念に、「日本社会に再エネを増やす」を目標とした大学再エネ化プロジェクトなど

パネルディスカッション（ディスカッション）

ディスカッションではコーディネーターの（公財）やまなし環境財団の鳥屋尾健運営委員（（公財）キープ協会）のもとパネリストや参加者との意見交換がおこなわれました。参加者からは各パネリストへの質問や激励のコメントが寄せられ、有意義なディスカッションとなりました。

当日の様子は、山梨チャンネル（ＹｏｕＴｕｂｅ）からご覧いただけます。▶

カーボンニュートラル社会の実現に向けて

東京電力パワーグリッド株式会社　山梨総支社

団体の紹介

私たち東京電力パワーグリッド株式会社は、2016年に一般送配電事業会社として新たな一歩を踏み出しました。気候変動対策を進めることが喫緊の課題となる中、東京電力パワーグリッド株式会社では、カーボンニュートラル社会の実現に向けて業務車両をＥＶ化する取り組みをはじめ、環境に関する取り組みを進めています。

東京電力パワーグリッド株式会社　山梨総支社の状況

ＳＤＧｓ達成に向けた方針及び取り組みを宣言し、やまなしＳＤＧｓ推進企業及び、甲府市ＳＤＧｓ推進パートナーに登録され、持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

東京電力パワーグリッド株式会社　山梨総支社の取り組み状況

東京電力グループは2019年5月に国際イニシアティブ「EV100」に参加し、業務車両を2025年度までに50%、2030年度までに100%電動化することを目指しています。
山梨総支社においても、保有する業務車両のうち、特殊車両を除いた全車両の電動化と各社屋への普通充電器の設置を順次進めており、車両の電動化については、現在約19%の進捗となっております。

<参考> 東電グループの具体的取り組み状況

- 「電動車両導入率」を環境指標として実績管理、公表
  ※2020年度実績:電動車両導入率15%、電動車両台数約570台
- 電動車走行時のCO2排出量をゼロとするため、東京電力エナジーパートナーの子会社日本自然エネルギーよりグリーン電力証書を購入、充電に使用する電力に再生可能エネルギーの価値を付与

YAMANASHI SDGs FORUM2023におけるブースの出展について

「カーボンニュートラルと防災を軸とした東京電力グループのまちづくり」と題して、ブースを出展させていただきました。電気自動車の展示の他、東京電力グループの取り組みとして環境の好循環を目指した尾瀬の保全活動の取り組みなどをご紹介しました。





ホームページ　東京電力パワーグリッド株式会社　検索